

美郷町長選挙

松田知己氏が 無投票当選

任期満了に伴う美郷町長選挙が11月5日に告示され、届け出のあった候補者が現職の松田知己氏のみであったため、11月10日に開かれた選挙会で松田氏の再選が決定しました。

なお、松田氏の任期は令和10年11月27日までの4年間です。

就任のあいさつ 美郷町長 松田知己



先月執行されました町長選挙により、引き続き町長職の重責を担わせていただくこととなりました。持てる力を最大限発揮し、がんばってまいります。引き続きよろしくお願いたします。

さて、美郷町は先月1日、20年という大きな節目を迎えました。成人の定義と大人の概念の違いを踏まえ、内面の

成熟を大人の概念とするならば、美郷町は「大人になった」と私は思います。その認識の

底流には、一定の財政健全化が果たされ、必要な施設や制度を一定程度整えたこと、そしてその核心には、町民自身の町に対する自負心が定着し、町の個性に対する共通認識も醸成されたことがあります。戦後復興を踏まえた「もはや戦後ではない」という言葉よろしく、美郷町は20年という時間を経て、「もはや合併自治体ではない」と認識しているところでは、一方で社会は複雑化し、新たな課題が

次々と生まれる環境になりました。その対応には迅速性や的確性がより求められ、事象に対する客観的な共通認識とともに、広範な協力体制も求められる状況です。その観点では、やはり情報に対してアンテナを磨く認識と、数多の物事を自分の問題として捉えていこうとする認識は、今後とも肝要です。新たな課題への判断と行動には、こうした認識を大切にし、着実に良き未来に向かって歩みを重ねていきたいものです。

意味で、財政分野も次のステージに入りました。もちろんこの規模での財源縮小は、経験からかなりの工夫と努力が必要です。そのためにも「三人寄れば文殊の知恵」のように、アイデアを出し合い、協力し合い、課題を乗り越えていきたいと思えます。

一つひとつを乗り越えて理想に近づく。少しずつ町民の幸福感を増していく。そして引き続き小さくてもキラリと光る美郷町であり続ける。これをめざし、がんばってまいります。みなさんの引き続きのご理解、ご協力を心よりお願い申し上げます。